



URL <http://www.mct.ne.jp/users/obamasho/>



☎ 42-0501 FAX 42-0518

**人権尊重の精神を基盤とした
楽しく明るい学校づくり**

校長 白田 実

朝夕の冷え込みに冬が近づきつつあるのを感じられる季節となりました。10月には地区と合同の運動会、11月はふれあいグラウンドゴルフや小浜フェスタなどの行事も行われ、子供たちも充実した学校生活を送っているところです。

さて、12/1(日)～12/10(火)は校内人権週間です。子供たちの人権意識を高めるために標語の作成や人権集会の実施などを予定しています。本校の学校経営方針を示すグランドデザインが一番下のところには「**人権尊重の精神を基盤とした楽しく明るい学校づくり**」という文が書かれています。これは、人権尊重の精神が全ての学校経営、教育活動の根幹にあることを視覚的に示したものです。

「人権」と聞いた時みなさんはどんなイメージをおもちでしょうか。平成25年と平成30年に県民に対して行われた意識調査では次のような結果が示されています。

Q あなたは、「人権」について、日常生活を過ごす中でどのような印象や感想をお持ちですか。(複数回答)

回答項目	H25	H30
重要な問題である(どちらかと言えば重要である)	51.6%	52.1%
自分にも関係がある	28.9%	30.6%
巻き込まれるとやっかいそう	12.6%	14.0%
あまり興味がない	6.0%	6.8%

Q 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。

回答項目	H25	H30
そう思う(どちらかと言えばそう思う)	38.1%	32.8%
一概には言えない	40.3%	44.6%
そうは思わない(どちらかと言えばそうは思わない)	12.4%	13.5%
わからない	6.7%	6.4%

「人権が重要な問題である」、人権は「自分に関係ある」、「基本的人権が尊重された社会である」と感じている方々の割合はまだまだ低い状況にあります。こうした実態を踏まえつつ、教育を通じて子供たちに人権について学ぶ場を作っていくことが学校の使命の一つでもあります。

でも「人権」とは何でしょうか。世界人権宣言には次のように書かれています。

[世界人権宣言 第一条]

すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

この人権尊重の精神を基盤とし、子供たち一人一人が互いの自由と尊厳・権利を認め合い尊重しながら、他者と強調・協働して楽しく明るく過ごせる人材を育成する、そんな願いを込めて、グランドデザインにこの文を書かせていただいています。

ふれあいグラウンドゴルフ最後の児童代表のお礼の言葉の中に次のような言葉がありました。

「打った球は思ったとおりに進まなかったけど、それもおもしろかったです。」

この言葉のとおり、いろいろな人がいて、いろいろな行動があり、いろいろな発言があるからこそ楽しいと感じられる、うまくいかなかったことも改善のチャンスととらえて楽しむ、子供たちがそんな人権感覚を育てていくことができるよう努めていきたいと思えます。



11月の生活目標

すすんで本を読もう

11月の保健目標

安全に気を付けて生活しよう

11月中旬～12月初旬の主な行事

【11月】

○ 家庭学習がんばり週間（16日～22日）

15日（金）特別支援学校の先生による巡回相談

20日（水）PTA 交通指導

21日（木）読書まつり

27日（水）スクールカウンセラー来校

修学旅行～28日（5・6年生）

【12月】

○ 校内人権旬間（1日～10日）

3日（火）租税教室（5・6年）

4日（水）スクールカウンセラー来校

11日（水）ドラムサークル・リズム体験

14日（土）持久走大会

10月の行事・できごと紹介

○ 市陸上記録会

10/17（木）霧島市陸上記録会が霧島市陸上競技場で開催されました。陸上記録会には、市内全小学校で選手に選ばれた5・6年生が集まりました。小浜小学校は、全員が会場に行きました。

共通混合400mリレーの部では、I・I・T・Kチームが2位という記録を残すことができ

ました。他の種目に参加した選手も他校の同級生と競い合い、高め合う楽しさを体感することができました。

○ 3・4年生研究授業

10/28（月）5校時に3・4年生教室で研究授業がありました。この日は、外部講師として鹿児島大学准教授高谷先生と霧島市教育委員会橋口先生が来校しました。

今回は、複式学級において『児童が「楽しい」と思える算数科の授業づくり』について研究を進めるために瀬戸山先生が授業を行いました。授業研究では、子供たちがいつ学びを楽しんでいたか、先生のどんな手立てで学ぶ楽しさが生まれていたかという視点で授業研究を行いました。

指導助言で講師の高谷先生は、子供たちの些細なしぐさや行動が学びを楽しんでいるサインになっていること、それを教師は見逃さずに認め価値づけしてあげたり、褒めてあげたりすることで子供たちの学習意欲は、さらに向上していくと教えてくださいました。

3・4年生の学ぶ姿をもとに「小浜で学び小浜を楽しむ」授業について考える機会となりました。

運動会の思い出（6年生）

6年 名前	I K	6年 名前	K K	6年 名前	T N
	私が一番心に残ったのは、一輪車競技です。昼休みや体育の時間に新しい技や、大人数で行うむずかしい技をたくさん練習しました。特に三～六年生の丸入で行う大車輪が一番むずかしかったです。けれど、日々の大ききで順番を変えるなどの工夫をして、みんな協力して成功することができました。みんなで楽しめる一輪車競技ができてよかったです。		ぼくが一番心に残ったのは、みんなと力を合わせて、がんばった応援合戦でした。最後負けたけれど、応援の力で20点差が10点差までになりました。みんなの大声で、応援は勝つことができ、とてもうれしかったです。応援団長になって最初は「大丈夫か」と思っていたけれど、本番の応援合戦で、自信をもってできたのがとても嬉しかったです。		たくさんの種目がありました。私の中では全て成功したと思っています。その中でも応援合戦が心に残っています。練習が少なかったので、コートでの練習をいっしょ懸命行いました。自組みんなが少しずつ上手になっているのを見ると、練習してきたのがたまたまと思えました。六年間の中で一番胸がはずむ運動会でした。大切な思い出ができました。
					